

亜硝酸還元酵素 (NO生成)

Cat. No. EXWM-1616

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 反硝化は、脱窒素細菌のペリプラズムに見られる2種類の酵素によって触媒されます。1つのタイプは複数の銅中心を含むタンパク質で、もう1つはヘムタンパク質であるシトクロムcd1です。受容体には、Paracoccus denitrificansやPseudomonas aeruginosaからのシトクロムc-550やシトクロムc-551などのc型シトクロムや、アズリンや擬似アズリンなどの小さな青色銅タンパク質が含まれます。シトクロムcd1は、オキシダーゼおよびヒドロキシルアミン還元酵素活性も持っています。また、これはシトクロムcd1のよく知られた活性であるため、ヒドロキシルアミン還元酵素 (EC 1.7.99.1) の反応も触媒する可能性があります。

別名 cd-シトクロム亜硝酸還元酵素; [亜硝酸還元酵素 (シトクロム)] [誤解を招く、コメントを参照。]; シトクロム c-551:O₂, NO₂⁺ 酸化還元酵素; シトクロム cd; シトクロム cd1; ヒドロキシルアミン (受容体) 還元酵素; メチルピオロゲン-亜硝酸還元酵素; 亜硝酸還元酵素 (シトクロム; NO生成)

製品情報

形態 液体または凍結乾燥粉末

EC番号 EC 1.7.2.1

CAS登録番号 9080-03-9

反応 一酸化窒素 + H₂O + フェリサイトクロムc = ニトリット + フェロサイトクロムc + 2 H⁺

備考 このアイテムはカスタム生産が必要で、リードタイムは5~9週間です。ご要望に応じてカスタム生産が可能です。

保管・発送情報

保存方法 短期間の保存には+4 °Cで保管してください。長期間の保存には-20 °C~-80 °Cで保管してください。